

科目名	ProTools 3							年度	2026
英語科目名	Pro Tools Training 3							学期	前期
学科・学年	音響芸術科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	吉田光宏	教員の実務経験		有	実務経験の職種		エンジニア・作編曲家		
【科目の目的】 Pro Toolsの設計・製造・販売元Avid社認定のワールドワイドな資格であるAvid Pro Tools201の取得を目標とする。このためにはPro Tools1・2において101と110を取得している必要がある。									
【科目の概要】 Avidの提供する Pro Tools Production I (PT201) に準じた授業を行う。									
【到達目標】 A. Avid製のハードウェアをよく理解し設定をする事ができる B. Voiceを完全に理解し優先順位も理解し節約することもできる C. ファイルフォーマットを理解しオーディオファイル適切に保存できる D. バウンスとフリーズとコミットを使い分けができる E. メモリーロケーションの機能を理解し使用できる									
【授業の注意点】 必ずメモを取りながら受講する事。また理解できないことが生じた場合は積極的に質問する事。授業中に私語や居眠りはしない事。授業中に発言を求められた場合は大きくハッキリと答える事（それを習慣付けることによって就職活動にも役立ちます）。パソコンが得意になれるように積極的に使用し、できれば自己所有する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	Avid製のハードウェアをよく理解し設定をする事ができる	Avid製のハードウェアの設定を試みた事がある	Avid製のハードウェアはよく知っている	Avid製のハードウェアは分かるけど用途が分からない	Avid製のハードウェアが分からない				
到達目標 B	Voiceを完全に理解し優先順位も理解し節約することもできる	Voiceを理解しどの様に作用するか分かる	Voiceというのは発音のことであるという事は覚えている	何となくVoiceという名前は聞いた様な気がする	Voiceの事を聞いたことが無い				
到達目標 C	コピーを保存でオーディオファイルのフォーマットを変更している	コピーを保存でデータ量をコンパクトにしたりしている	上書き保存と別名で保存とコピーを保存を使っている	上書き保存と別名で保存を使っている	上書き保存しか使わない				
到達目標 D	バウンスとフリーズとコミットを使い分けている	バウンスとフリーズ機能を使用している	ディスクにバウンスとトラックバウンスを使っている	ディスクにバウンスだけは分かる	ディスクにバウンスを聞いたことが無い				
到達目標 E	様々なメモリーしたことをテンキーで呼び出して効率よく使用している	メモリーロケーションを理解し様々なことをメモリーしている	メモリーロケーションのマーカー以外の機能も理解している	メモリーロケーションはマーカーだけ使う	メモリーロケーションの使用方法を忘れた				
【教科書】 Avid認定のPro Tools201テキスト									
【参考資料】 授業内で配るPDFファイル									
【成績の評価方法・評価基準】 ルーブリックに基づく評価を行う。評価方法は主に定期試験で行う。また補足的にレポート評価を行う場合もある。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ProTools 3			年度	2026
英語表記		Pro Tools Training 3			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	Pro Tools 201の解説	Pro Tools 201テキストを理解する	1 テキスト201の概要	ハイクラスなプロツールのテキストであるという事	3	
			2 201で大切な事	201で身につけるスキルのを理解する		
			3 201試験について	Pro Tools 201試験で出るショートカット等の説明		
2	クロック	デジタルに必要なクロックについての理解	1 クロックが必要な理由	なぜクロックというものが必要か理解する	3	
			2 クロックの設定	クロックの設定方法を理解する		
			3 トラブルの解決	クロックによるトラブルが解決できる様になる		
3	スクロール	様々なスクロールについて理解する	1 スクロールの選択	どの様にしてスクロールを選択するか覚える	3	
			2 スクロールの種類	それぞれのスクロールがどの様なものか理解する		
			3 それぞれの使用用途	どの様な状況でどのスクロールを使用するか理解する		
4	保存方法	3つある保存方法を理解する	1 上書き保存	上書き保存を理解する	3	
			2 別名で保存	別名で保存の使用状況と使用状況を理解する		
			3 コピーを保存	コピーを保存は多くの使用用途があることへの理解		
5	ワークスペースブラウザ	ワークスペースブラウザの使い方を理解する	1 ロケーションの理解	ワークスペースブラウザのロケーションを理解する	3	
			2 インポート出来るもの	何がインポート出来るか理解する		
			3 タグの使用	ワークスペースブラウザによるファイルのタグ付け		
6	Voice	Voiceについて理解する	1 Voiceとは何か	Pro ToolsにおけるVoiceとは何かを理解する	3	
			2 Voiceの発生理由	なぜVoiceが発生するのかを理解する		
			3 Voiceの節約方法	Voiceの優先順位や節約方法などを覚える		
7	メモリーロケーション	マーカー以外のメモリーロケーションを覚える	1 時間の概念	複数ある時間の記録方法を理解する	3	
			2 種類	どの様なものがメモリーできるか理解する		
			3 ウィンドウ構成	ウィンドウ構成と組み合わせでメモリーする方法		
8	編集ツール拡張	編集ツールの拡張機能を覚える	1 拡張機能の出し方	どの様にして編集ツールの機能拡張を出すか覚える	3	
			2 機能拡張の種類	どの様な種類の機能拡張があるか理解する		
			3 機能拡張の使用用途	どの様な時にその機能拡張を使用するか理解する		
9	マルチプルアウトプット	マルチプルアウトプットを使用できる様になる	1 使用できる場所	どの場所でマルチプルアウトプットを使用できるか覚える	3	
			2 設定方法	どの様にしてマルチプルアウトプットを設定するか覚える		
			3 使用用途	どの様な時にマルチプルアウトプットを使うか理解する		
10	オートメーション	オートメーションの高度な使い方	1 Auto Join	オートジョインによる書き込みをできる様になる	3	
			2 フェーダ位置に書き込	現在のフェーダー位置に書き込みを使用できる		
			3 プレビューモード	プレビューモードを理解し使用できる様になる		
11	クリップゲイン	クリップゲインを使用できる様になる	1 ショートカット	使用するためのいくつかのショートカットを覚える	3	
			2 ラインと情報	クリップゲインラインと情報を使用できる		
			3 クリップゲインのナッジ	クリップゲインをナッジし編集スピードを高める		
12	ストリップサイレンス	ストリップサイレンスを使用できる様になる	1 概要	ストリップサイレンスとはどの様な機能か理解する	3	
			2 使用方法	ストリップサイレンスをどの様な方法で使用するか		
			3 使用用途	ストリップサイレンスをどの様な時に使用するか		
13	トラック複製機能	トラック複製機能を理解する	1 表示方法	どの様にしてトラック複製機能を表示させるか	3	
			2 使用方法	トラック複製機能の使用方法を覚える		
			3 使用用途	使用すると便利な状況を理解する		
14	ソロモード	ソロモードを理解し使い分ける	1 ラッチ・XOR・一時的	ラッチ・XOR・一時的を理解し使用できる	3	
			2 SIP・AFL・PFL	SIP・AFL・PFLについて理解する		
			3 使い分け	それぞれのソロモードを用途に応じて使い分ける		
15	201試験	201試験の方法を理解し受験に備える	1 アカウントの確認	アカウントやパスワードを確認する	3	
			2 試験への入り方	201試験の入り方を復習する。		
			3 受験方法	受験時の解答方法や採点方法を復習する。		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等